当院における実績

令和8年7月

①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態、又は義肢装着訓練を要する状態

②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、又は2肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後の状態

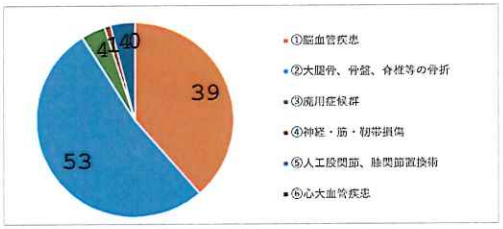
③外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており手術又は発症後の状態

④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態

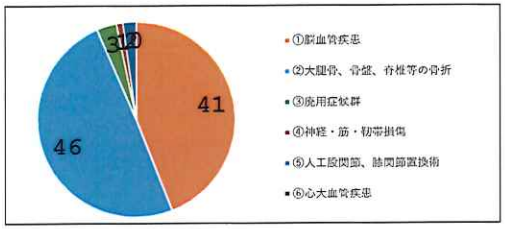
⑤股関節又は膝関節の置換術後の状態

⑥急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態

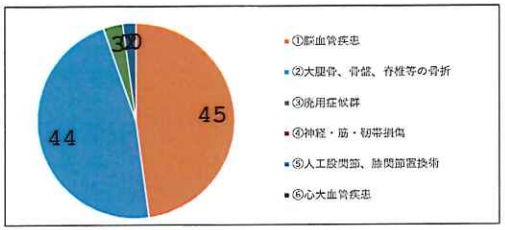
令和8年 4月		
101		名
①脳血管疾患	39	名
②大腿骨、骨盤、脊椎等の骨折	53	名
③廃用症候群	4	名
④神経・筋・靭帯損傷	1	名
⑤人工股関節、膝関節置換術	4	名
⑥心大血管疾患	0	名



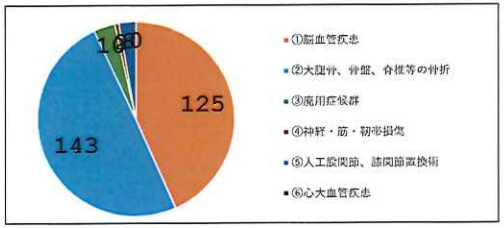
令和8年 5月		
93		名
①脳血管疾患	41	名
②大腿骨、骨盤、脊椎等の骨折	46	名
③廃用症候群	3	名
④神経・筋・靭帯損傷	1	名
⑤人工股関節、膝関節置換術	2	名
⑥心大血管疾患	0	名



令和8年 6月		
94		名
①脳血管疾患	45	名
②大腿骨、骨盤、脊椎等の骨折	44	名
③廃用症候群	3	名
④神経・筋・靭帯損傷	0	名
⑤人工股関節、膝関節置換術	2	名
⑥心大血管疾患	0	名



令和8年 4月～6月		
288		名
①脳血管疾患	125	名
②大腿骨、骨盤、脊椎等の骨折	143	名
③廃用症候群	10	名
④神経・筋・靭帯損傷	2	名
⑤人工股関節、膝関節置換術	8	名
⑥心大血管疾患	0	名



令和2年4月の診療報酬改定に伴い、リハビリの効果が一定基準に満たない回復期リハビリテーション病棟では、疾患別リハビリテーションの6単位以上については入院料に包括されることになりました。

評価方法については、FIM（機能的自立度評価）及び在院日数をもとに、基準値の"48"以上である場合、質の高いリハビリテーションを行っている病院として評価されることになります。

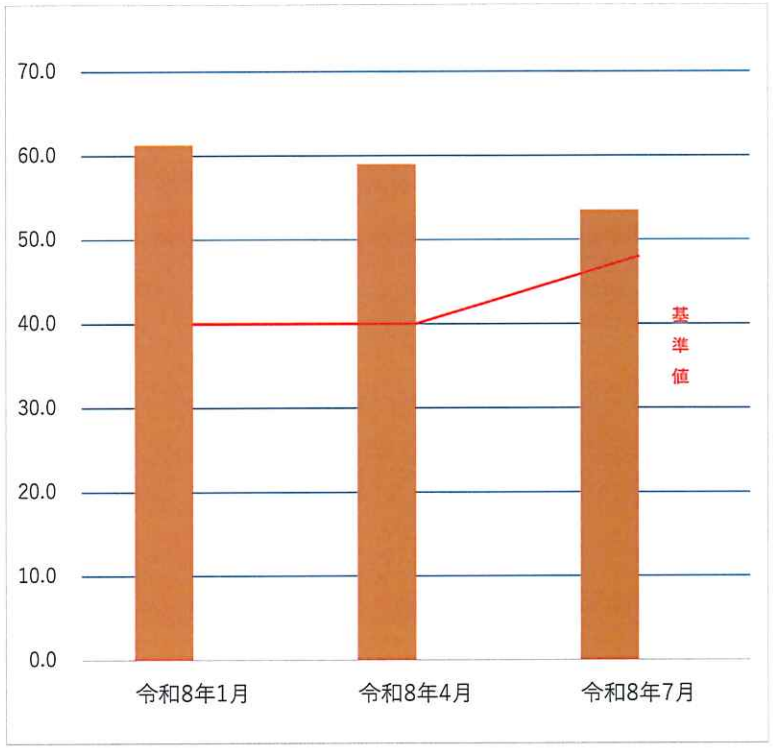
※3ヶ月ごとの基準値が評価されます。

$$= \frac{\text{①退棟時のFIM得点（運動項目）－入院時FIM得点（運動項目）＋加算点＊}}{\text{②各患者の入棟から退棟までの日数÷当該患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

＊加算点

入棟時のFIMのトイレ、移動の項目が自立しておらず、退棟時に自立した場合にそれぞれ１点が加算される。

報告月	実績指数	基準値
令和8年1月	61.3	40
令和8年4月	59.0	40
令和8年7月	53.6	48



社会医療法人社団　東京巨樹の会
小金井リハビリテーション病院
院　長